保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

つながるね 365日 24時間 はなせるね

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入方法などのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県） 044-543-0220
西日本地区（上記以外） 06-6440-4411

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

※電話受付：365日・24時間受け付けます。

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買いあげの日から1年間です。**
  詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品は製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご相談ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買いあげ日	年　月　日
	お買いあげ店名	電話（　　）　－

愛情点検

●長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと運転が止まるときがある。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。

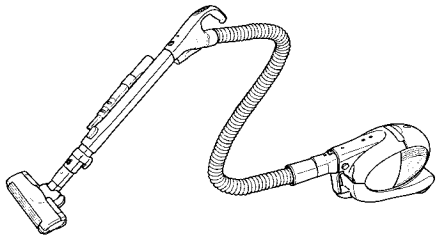
東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8（東芝万世橋ビル）

BJV－JTM－0

TOSHIBA

東芝クリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名
VC-Y15T



もくじ

安全上のご注意・・・・2～3
お願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・・・4
お掃除のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
お掃除のコツ・・・・・・・・・・・・・・・・・6～8
ゴミの捨てかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～13
お掃除終了後は・・・・・・・・・・・・・・・・・14
保護装置について・・・・・・・・・・・・・・・14
このようなときは・・・・・・・・・・・・・・・15
抗菌の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
保証とアフターサービス・・・・・・・・・16

- このたびは東芝クリーナーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- この取扱説明書は再生紙を使用しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止：⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示：●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意：△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない（分解禁止）
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない（禁止）
感電・ショート・発火の原因になります。

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う（100V・15A以上）
火災・感電の原因になります。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない（プラグを抜く）
感電やけがをすることがあります。

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない（禁止）
火災の原因になります。

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない（水場での使用禁止）
感電する場合があります。

電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない（禁止）
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面、網戸ブラシの回転部には触れない（接触禁止）
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない（禁止）
電源コードの損傷により、感電することがあります。

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバー・ケース下部を除く）は絶対に水洗いしない（水洗い禁止）
感電、故障する場合があります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む（根元まで差し込む）
感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる（ほこりをとる）
感電や発熱による火災の原因になります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く（プラグを持つ）
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電やショート、過熱により発火することがあります。

吸込口をふさいで長時間運転しない（禁止）
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う（プラグを持つ）
電源プラグがあたってけがをすることがあります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く（プラグを抜く）
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

排気口をふさがない（禁止）
火災の原因になります。

火気に近づけない（火気禁止）
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

電源コードは、まっすぐ引き出す（まっすぐに引く）
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電や発火の原因になります。

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない（禁止）
爆発や火災の原因になります。

ホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンなどを入れない（禁止）
感電や破壊の原因になります。

お願い

このクリーナーは家庭用です
●業務用には使用しない。
●掃除目的以外には使用しない。

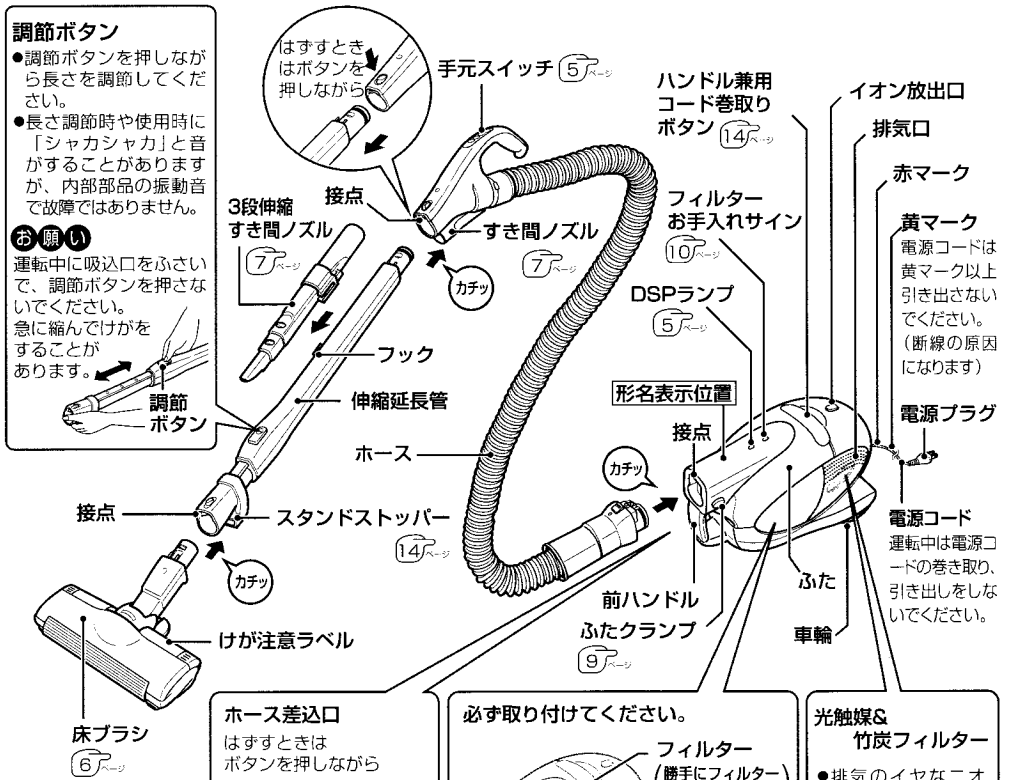
つぎのものは吸わせない
■**水などの液体や湿ったゴミ。**
■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
■食品用ラップなどの通気性の悪いもの。
●**故障やダストカップの傷つきの原因になります。**

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない
●床が傷ついたり、故障の原因になります。

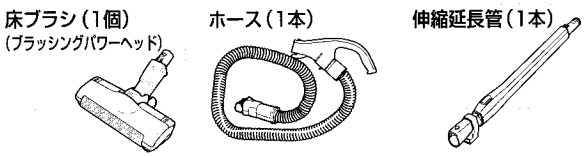
掃除するときは電源コードを十分に引き出す
●電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

床ブラシを床に強く押し付けたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない
●床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、力を入れずに片手で軽くすべらせてください。伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
●床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面にこすり傷がつくことがあります。
●やわらかく傷つきやすい木床材や、ワックス上のこすり傷が気になる場合は、別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
●砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。

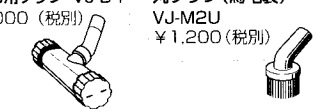
各部のなまえとはたらき



標準付属品



別売品



●上記の価格は2004年2月現在の希望小売価格です。変更する場合もあります。

応用付属品

お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 手元スイッチを押す

	床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき	ブラシ入/切 を押す	●床・たたみで静かにお掃除したい場合は、「切」にしてください。	ブラシ入/切 を押すごとに「入↔切」が切り替わります。
自動	床ブラシを使った通常のお掃除をするとき	自動 を押す	●ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。 ●DSP制御がはたらきます。	
手動	「強」でお掃除するとき	強/弱 を1回押す	じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに ●DSP制御がはたらきます。	強/弱 を押すごとに「強↔弱」が切り替わります。
手動	「弱」でお掃除するとき	強/弱 を2回押す	静かにお掃除したいときやカーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に 3段伸縮すき間ノズルを使ったお掃除に ●DSP制御ははたらきません。	
	運転を止めるとき	切 を押す	※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。	

お知らせ ●大きなゴミなどを急激に吸い付かせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

お願い ●大きなゴミを吸い付かせたまま**約3分間使用すると、**モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります。**このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

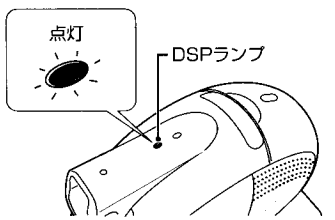
マイナスイオンユニットについて

●クリーナーの運転をおこなうと、マイナスイオンが発生し、クリーナーの運転を止めるとマイナスイオンの発生が止まります。運転中にマイナスイオンユニットを入/切することはできません。

DSP (Digital Signal Processor) 制御について

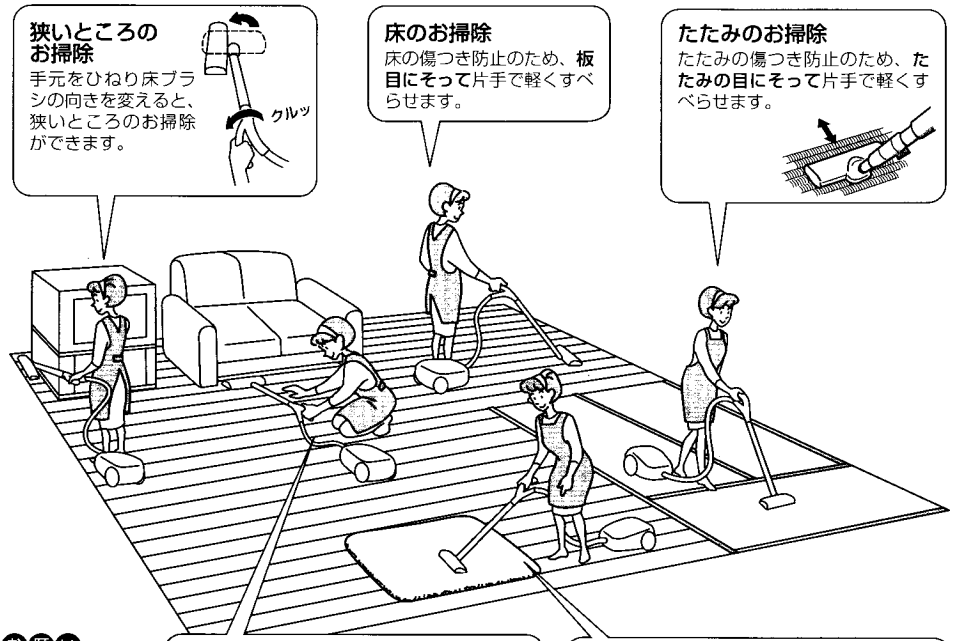
●この掃除機はDSPヘッドの床面識別信号を自動検知し、床面の違いに応じて瞬時に床ブラシ回転部の回転数を最適に制御します。フローリングでは床ブラシ回転部の回転数を増し「拭き効果」「磨き効果」を高めます。

●DSP制御は「自動」「強」の運転モードで動作します。
＊床面の種類によってはDSP制御が動作しない場合があります。



お掃除のコツ

狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。



床ブラシの使いかた

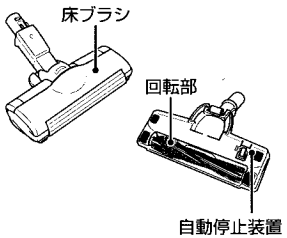
回転部について

⚠警告

床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面、網戸ブラシの回転部には触れない

接触禁止 手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと回転部が止まります。



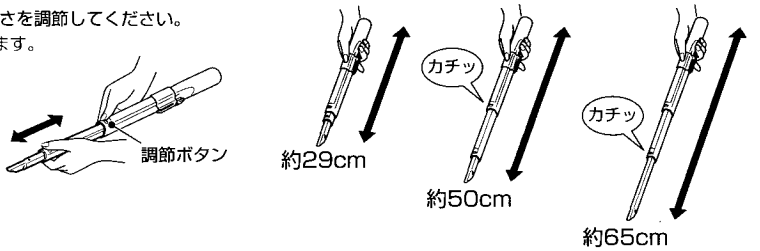
- 床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
- 床ブラシを持ち上げたときは、安全のため回転部は止まります。
- 床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、(切)を押し、運転を止め再び(強/弱)を押してお使いください。

3段伸縮すき間ノズルの使いかた

通常は、(強/弱)を2回押し、「弱」でお使いください。

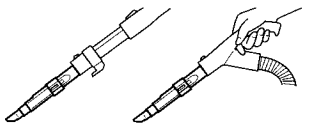
3段伸縮すき間ノズル

調節ボタンを押しながら長さを調節してください。
- 3段階に長さを調節できます。

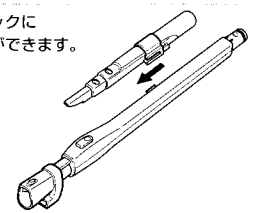


お願い
- 運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。急に縮んでけがをすることがあります。
- 床、木目の家具表面やピアノなどには使用しないでください。傷をつけることがあります。
- 掃除中は、無理に押し付けないでください。家具などを傷つけることがあります。

ホースまたは伸縮延長管の先端に差し込んで使用できます。



伸縮延長管のフックに取り付けることができます。



すき間ノズルの使いかた

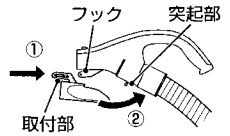
通常は、(強/弱)を2回押し、「弱」でお使いください。

※強い吸込力でお掃除するときは、(強/弱)を1回押し、「強」でお使いください。

- すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納できます。
- 伸縮延長管の先にもセットして使用できます。

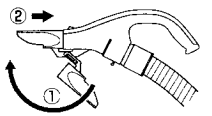
取り付けるとき

①すき間ノズルの取付部をフックと平行にし、止まるまで差し込む
②すき間ノズルの先を突起部にはめ込む



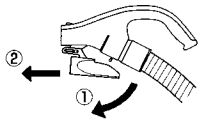
ホースにセットするとき

①すき間ノズルの先端を突起部からはずし、フックに引っかけたまま、ノズルの先端を180°回転させる
②ホースの先端にしっかり差し込む



取りはずすとき

①すき間ノズルの先を突起部からはずす
②フックと平行に、すき間ノズルを引き抜く



お願い
- **床などに使わない。傷をつけることがあります。**
- 20分以上続けて使用しない。モーターに負担がかかります。
- 「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。
- **すき間ノズルをフックから無理にはずさない。フックが変形して収納できなくなります。**
- すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。

(つづく)

お掃除のコツ（つづき）

⚠警告　床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面、網戸ブラシの回転部には触れない
接触禁止　手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

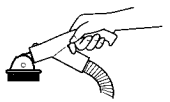
フリーアングルブラシの使いかた

通常は、強/弱を2回押し、「弱」でお使いください。

- 掃除の場所に合わせて、いろいろな使いかたができます。

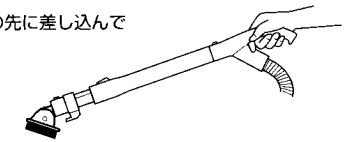
※各部品先端への取り付けは、しっかりと差し込んでください。

ホース先端に差し込んで



3段伸縮すき間ノズルの先端に差し込んで

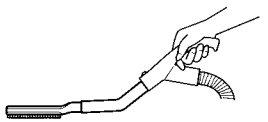
伸縮延長管の先に差し込んで



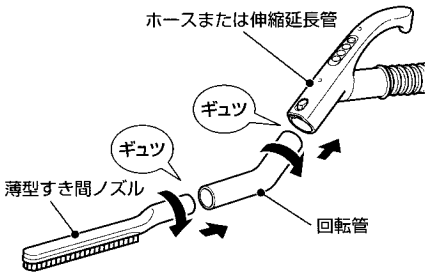
薄型すき間ノズルの使いかた

通常は、強/弱を2回押し、「弱」でお使いください。

- ホースまたは伸縮延長管に差し込んで使います。



取り付けるとき

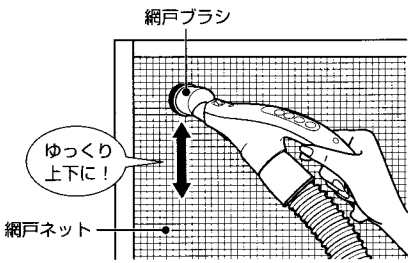


お願い
- 運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。急に縮んでけがをすることがあります。
- 床、木目の家具表面やピアノなどには使用しないでください。傷をつけることがあります。
- 掃除中は、無理に押し付けないでください。家具などを傷つけることがあります。

網戸ブラシの使いかた

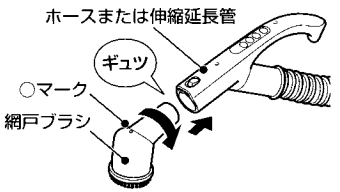
通常は、強/弱を1回押し、「強」でお使いください。

- 網戸などのネットの表面に軽く当て、ゆっくり上下に動かしてください。
- 強く当てると網戸がたわみ、回転が止まることがあります。



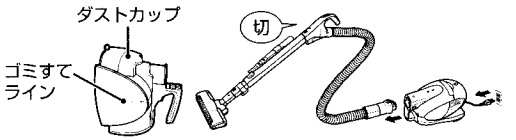
取り付けるとき

延長管・ホースにねじりながらしっかり差し込む
- 「○」マークを上にしてご使用ください。



お願い
- 網戸ブラシは、網戸などのネット専用ブラシです。その他のお掃除には使用できません。
- 床、木目の家具表面やピアノなどには使用しないでください。傷をつけることがあります。
- じゅうたんやカーテンなどには使用しないでください。回転部に繊維がからみつき、回転が止まることがあります。

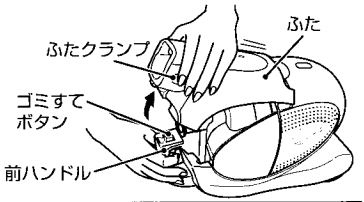
ゴミの捨てかた



- お掃除が終ったらこまめにゴミを捨てましょう。
- ゴミすてラインを越えると吸込力が低下します。

※ゴミを捨てる前には（切）を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

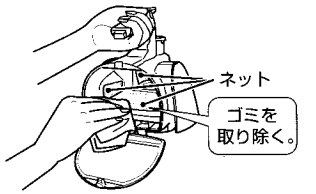
1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける



2 ダストカップを取り出し、大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れ、前ハンドルのゴミすてボタンを押す

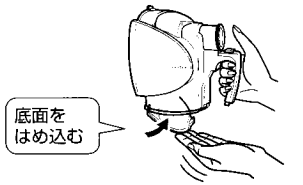
- ダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。
- ゴミを捨てる前にダストカップ側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。

3 ネットについたゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞく

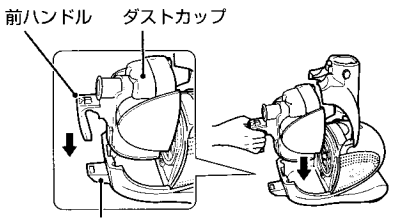


4 ダストカップの底面を手で戻しカチッと音がするまではめ込む

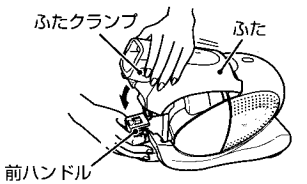
- ダストカップの底面が開いた状態でゴミすてボタンを押しても底面は戻りません。



5 本体にダストカップをのせる



6 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを閉める



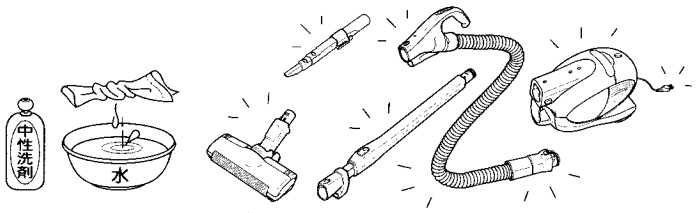
お願い
- ゴミの種類によりゴミすてラインにゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ダストカップのゴミを捨て、ネットのゴミを取りのぞき、フィルターのお手入れをしてください。（11ページ）
- 本体からダストカップをはずすとき、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。
- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
- ネットを強く押さないでください。破損の原因となります。
- ネットについたゴミが取りのぞきにくい場合は、水洗いしてください。（11ページ）
- ふたクランプを閉めるときは、ふたで指をはさまないよう注意してください。

お手入れ

ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき、フィルターのお手入れをしてください。
※お手入れの際には (切) を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

本体・付属品

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふいてください。
ベンジンなどでふくと、ひび割れ、変形、変色の原因になります。

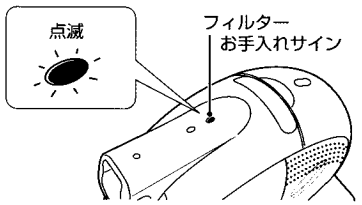


お願い
- 水以外のもので洗わないでください。
- 回転部には注油しないでください。

フィルター

■フィルターお手入れサイン

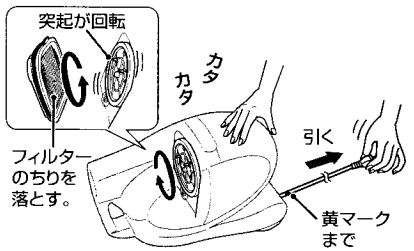
フィルターのお手入れ時期の目安をお知らせします。
フィルターが目づまりするとフィルターお手入れサインが点滅します。
フィルターお手入れサインが点滅してからそのままご使用になると、モーターの保護のために自動的にパワーが下がります。
フィルターお手入れサインが点滅したらフィルターのお手入れ方法にしたがってお手入れしてください。(11ページ)
フィルターのお手入れが不十分であるとフィルターお手入れサインが早めに点滅することがあります。



お願い
- 吸込力を持続させるために月に一度を目安にお手入れしてください。
- お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。
- 延長コードを使用したり、他の家電製品と同一コンセントでお使いになると、電源電圧の低下により、フィルターお手入れサインが早く点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントでご使用ください。

勝手にフィルタークリーニング

コードを引き出すときに、自動的にフィルターのちり落しをします。



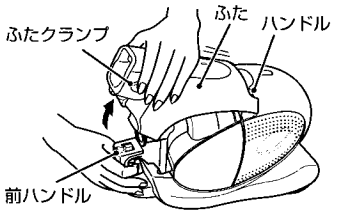
お願い
- ちり落しの効果を出すため、お掃除のときはコードを黄マークまで引き出してください。
- コードを引き出すとき、巻き取るときのカタカタ音はちり落し装置の音ですので異常ではありません。
- コードを巻き取るときは、ちり落しをしません。

⚠警告

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバー、ケース下部を除く）は絶対に水洗いしない
水洗い禁止　感電・故障する場合があります。

フィルターのお手入れ方法

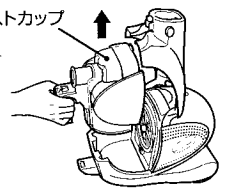
1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける



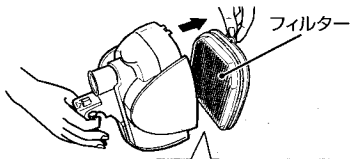
お願い
- ふたを開けるときはハンドルが浮いていないことを確認してください。ふたが確実に開かない場合があります。

2 ダストカップを取りだし、フィルターをはずす

①ダストカップを本体から取り出す。



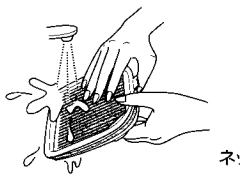
②つまみを持ち、フィルターをはずす。

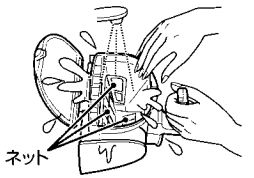


容器に水をため、水中でフィルターをはずすとホコリがたちません。

3 フィルター・ダストカップ・ネットを水洗いし、水気を切り、十分に自然乾燥させる

- 水洗い後、フィルター・ネットにゴミが残ったまま乾燥しますと臭いが発生することがあります。
  フィルター・ネットに付着したゴミが取れにくい場合は、古い歯ブラシ等でお手入れしてください。
  フィルターを広げながら洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。

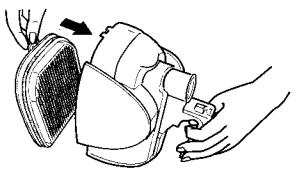

フィルターを洗う



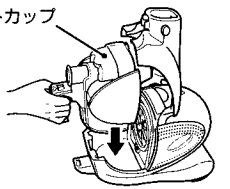
ダストカップを洗う

4 十分な乾燥を確認してフィルターをセットし、ダストカップを本体に取り付ける

①ダストカップにセットする。



②本体に取り付ける。



お願い
- フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。
- ネットを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

お手入れ(つづき)

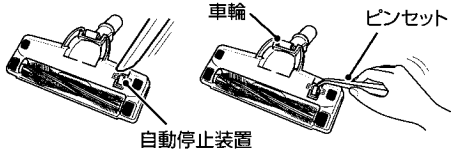
床ブラシ

床ブラシのお手入れ方法

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

1 ゴミを取りのぞく

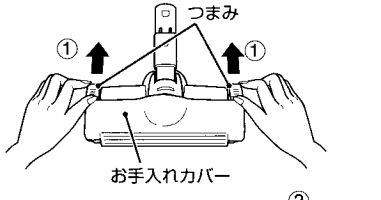
自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミを吸い取り、ピンセットで取りのぞく。

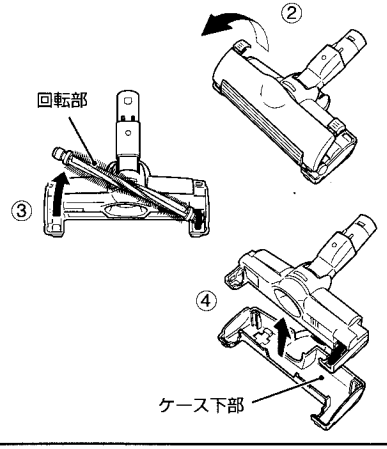


お願い
- ゴミがたまったままお使いになると**車輪が回らず、床、たたみを傷つける**ことがあります。

2 お手入れカバーをはずし、回転部を取り出す

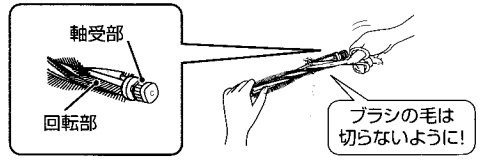
①つまみを矢印の方向に動かす。
②お手入れカバーを手前に動かす。
③回転部をベルトからはずし取り出す。
④ケース下部をはずす。





3 回転部にからみついたゴミを取りのぞく

回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り取りのぞく。



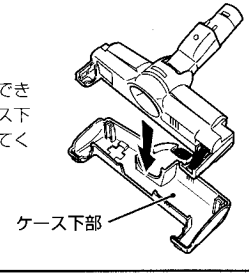
お願い
- 回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。

4 回転部、お手入れカバー、ケース下部を水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる

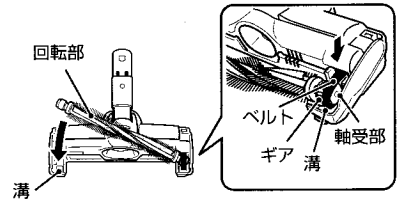
お願い
- 回転部、お手入れカバー、ケース下部以外は水洗いしないでください。故障の原因となります。
- 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
- 毛のかたいブラシで洗わないでください。
- 暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

5 十分な乾燥を確認してケース下部を取り付ける

お願い
- 性能・品質を保証できませんので、ケース下部は必ず取り付けてください。

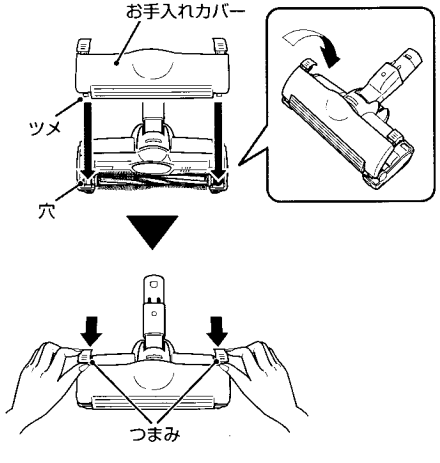


6 十分な乾燥を確認して回転部を取り付ける



お願い
- 回転部のギアをベルトに確実に取り付け、溝に入れてください。

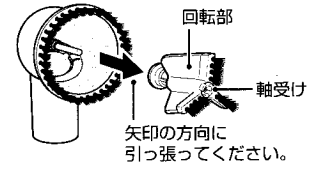
7 お手入れカバーを取り付ける



お願い
- お手入れカバーは、浮きがないようにつまみで確実にロックしてください。

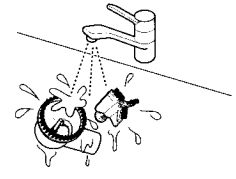
網戸ブラシ

1 網戸ブラシを裏返し、回転部をはずす



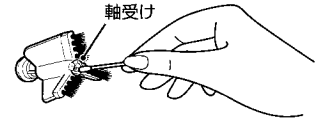
2 回転部にからみついたゴミを取りのぞく

回転部を水で洗い、陰干しにして十分に乾燥させてください。

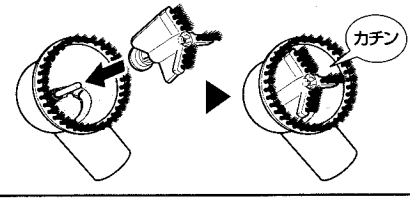


お願い
- 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
- 毛のかたいブラシで洗わないでください。
- 暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

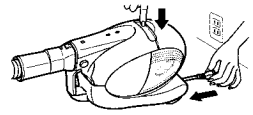
3 回転部の回転が著しく弱くなった時は回転軸、軸受けの内面を綿棒などの柔らかいものでふく



4 回転部をカチンと音がするまではめ込む



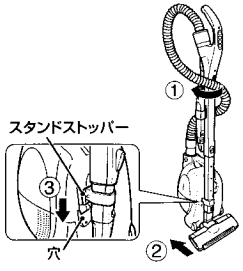
お掃除終了後は



お掃除終了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを持ち、ハンドル兼用コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取ります。
巻き取れない場合は、電源コードを1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。

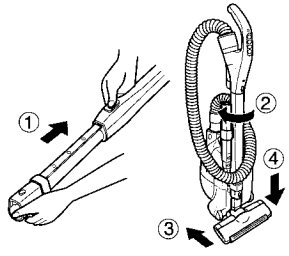
スタンド収納

①伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
②床ブラシを滑らせながら本体側に引く
③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む



ミニ収納　押し入れなど、高さの低い場所での収納に

①伸縮延長管を縮める
②伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
③床ブラシを滑らせながら本体側に引く
④スタンドストッパーを本体の穴に差し込む



お願い
- スタンドストッパーがはずれることがありますので、収納状態で持ち運ばないでください。
- スタンドストッパーがはずれることがあり、標準付属品の床ブラシ取り付け時以外は、使用できません。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

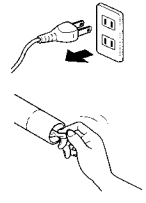
本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
  砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
- ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき
- すき間ノズルで連続運転使用したとき
- 夏期など室温が35℃を越えるとき
- 吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき
- フィルターお手入れサインが点滅したまま使用したとき

直しかた

①手元スイッチの㊀を押し、電源プラグをコンセントから抜く
②ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく
③涼しい場所におく



約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

床ブラシの保護装置がはたらくとき

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

このようなとき

- 回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押し付けたとき
- 回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだとき。

直しかた

手元スイッチの㊀を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取り除きます。12ページ

約10分後、保護装置が解除され、再び使用できます。

このようなときは

⚠警告　分解禁止

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に　●ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●ホースが本体に差し込まれていますか。	→しっかり差し込んでください。	4
	●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	14
	●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	14
モーターの回転が変動する	●ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	→マイコンによる制御で異常ではありません。	5
吸込力が弱い	●ダストカップや上部のネット部がゴミでいっぱいになっていませんか。	→ゴミを捨ててください。	9
	●ダストカップ、フィルターの汚れがひどくありませんか。	→お手入れしてください。	10~11
	●フィルターお手入れサインが点滅していませんか。	→お手入れしてください。	10~11
	●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	4
床ブラシの回転部が回転しない	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。	→取りのぞいてください。 床ブラシの保護装置がはたらいています。	12
	●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。	→お手入れカバーを取付け直してください。	12
	●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。	→床ブラシの保護装置がはたらいています。	14
	●自動停止装置にゴミがついていませんか。	→取りのぞいてください。	12
電源コードが巻き取れない 引き出せない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。	→1~2m引き出してふたたび巻き取ってください。	14
	●電源コードがからんでいませんか。	→ハンドル兼用コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2~3回くり返してください。	14

それでも異常のある場合は、16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。

- ご使用中、本体及びコード、排気風が熱く感じてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
- ゴミがたまってくると、吸込力を保つためにモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。フィルター、ダストカップ、ネットをお手入れしてください。11ページ
- ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
- 電源プラグを差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛、起毛布
ダストカップ	（財）日本食品分析センター	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
酵素フィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	不織布

仕様

電源	消費電力	外形寸法 長さ	外形寸法 幅	外形寸法 高さ	質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
100V 50-60Hz 共用	1000W ～約300W	350 mm	220 mm	230 mm	5.2kg（ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む）	560W～約90W	59dB ～約53dB	0.8L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率560W、運転音59dB